

観光ルート開発モデル業務委託 (SDG s を活用した観光ルートモニターツアー) 報告書概要版

令和5年12月

発 行：東京都商工会連合会多摩観光推進協議会
受託者：株式会社 J a p a n i s m

事業目的

多摩地域は、豊かな自然や多くの観光資源が存在しているものの、1箇所では旅行者等を集客できる観光資源は少なく、都心からの移動時間を有効に使える観光ルートも少ない。そのため、旅行者等が多摩の魅力を肌で感じ、リピーターとして再び多摩地域を訪れたいような観光資源の発掘と観光ルート開発を行い、国内旅行者等の誘致を促進する。

事業内容

～多摩地域SDG s 体験日帰りモニターツアーの実施～

メディアや旅行業関係者、情報発信力の高いインフルエンサー、一般の方々を対象とし、多摩地域の西多摩地域とそれ以外の地域で、「持続可能な開発のための2030のアジェンダ」に記載された17の目標169のターゲットの中の特に関連した旅行スタイルを表すキーワードに関連した取組を観光コンテンツとして取り入れた日帰りツアーを日本人向けに計2回実施。ツアーを通してSDG s の取組の必要性に理解を深めてもらう事と同時に、アンケートによる多摩地域の認知度や観光資源の満足度等の調査、およびメディア、インフルエンサーからの情報発信、SNSからの情報の拡散、旅行・観光業関係者のSDG s に関連した旅行商品企画・造成による観光客誘致目的とした。

〈南多摩コース〉 八王子市

実施日	令和5年10月12日（木）
テーマ	「日本遺産・桑都物語を通じた持続可能なまちづくりの取組を見学しよう」
SDG s 目標	目標⑧働きがいも経済成長も ターゲット8.9： 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促に繋がる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する
キーワード	伝統建築・文化
参加者	16名 メディア、観光・旅行会社関係者、インフルエンサー、一般参加者、事務局スタッフ
日程	〈午前〉高尾山薬王院訪問、ケーブルカー・リフト乗車 ―桑都テラス （昼食・八王子芸者舞台観賞・芸妓遊び体験） 〈午後〉澤井織物工場（工場見学・多摩織体験） ―桑都日本遺産センター八王子博物館（自由見学）
評価	とても満足8名・満足6名・やや不満1名・不満/未回答1名



高尾山薬王院訪問



八王子芸者舞台観賞



織物工場見学・多摩織体験



はちばく見学



芸妓遊び体験

〈西多摩コース〉 檜原村・あきる野市

実施日	令和5年10月17日（火）
テーマ	「クロモジを通じて地域の魅力の発見と森林保全に貢献しよう」
SDG s 目標	目標⑤陸の豊かさを守ろう ターゲット15.4： 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う
キーワード	自然環境
参加者	16名 メディア、観光・旅行会社関係者、インフルエンサー、一般参加者、事務局スタッフ
日程	〈午前〉フォレストイングコテージにて 森林散策・クロモジを使ったワークショップ体験 （クロモジ化粧水・クロモジや野草を使ったバスソルト作り） 〈午後〉国の登録有形文化財・森田家住宅（見学） ―西多摩シークレットシェフ特製クロモジ食事体験（昼食）
評価	とても満足10名・満足5名・やや不満1名・不満/未回答0名



森林散策



クロモジ



クロモジワークショップ



森田家住宅見学



クロモジ食事体験

事業の成果と今後の課題

（1）モニターツアーの実施について

南多摩コースにおいては、日本遺産に登録された八王子市の「桑都物語」に関する情報発信や人材育成・伝承、環境整備や歴史文化資源の保存・活用等の取組を見学・体験すること、西多摩地域においては、実際にツアーを組み立てる際のモデルコースとして位置づけられている強みの「自然と食」や「文化・歴史」というテーマ性をSDG s の取組とリンクさせる事で新しいタイプのツアーとしての新規性を見出す事が出来た。今後の展開としては、現代の消費者動向を考慮し、市町村の枠を超えたテーマのあるツアーを構成する事が重要である。

（2）多摩地域のSDG s 体験について

南多摩地域に属する八王子市の歴史を物語にした桑都物語を活かした地域振興や、まちづくりの取組はSDG s 活動の一環であり、構成文化財の見学や体験を観光コンテンツ化する事で、SDG s 体験という新たな観光ルートとして注目される可能性は十分にある。また、歴史背景勉強の要素も含まれているので、対象者は日本人問わず、外国人にも通用すると考える。西多摩地域は、東京都内で唯一自然豊かな地域というイメージが強く、実際でも地域から森林保全活動を筆頭にしたSDG s の取組はツアーを通じて伺える絶好の地域でもある。また近年全国的にクロモジが注目されている中で、自生しているクロモジを使った体験が出来る場所は全国でも数少なく、クロモジをメインコンテンツにした継続的なSDG s 体験ツアー実施のポテンシャルは十分に秘めている。今後のツアー継続化に向けては、今回のモニターツアーでのアンケート結果を元にした内容の改善、自走化に向けての具体的な仕組みづくりを図る事を始め、地域の知名度を上げるために政府や自治体、観光協会等が主体となった国内外へ向けてのPRが必須である。PRにはメディアやSDG s 関連情報発信に属するインフルエンサー活用は重要であると考え。また継続的なPRに併せて、旅行会社による誘客の仕組み作りも必要不可欠である。